

## 都市計画が果たしてきた役割、 培ってきた技術

都市計画は、都市の成長と発展、またはその過程で顕在化してきた都市問題に対応し、特有の技術を培ってきました。こうした技術の中には、これからの様々な社会課題への対応に活用できるものもあり、都市計画の役割はますます広がっていくものと考えられます。

### 都市計画が 果たしてきた 役割



#### 都市の課題や解決策の 方向性を明らかにする

将来の趨勢を予測し、多様な視点(虫の目~鳥の目)から、都市課題やその解決策の方向性を明らかにする。

#### 将来ビジョンを つくる

一人ひとりが抱く将来の思いを「全体で共有できる思い」へと総合化し、都市が目指すビジョンを提示する。

#### 将来ビジョンの実現 への道筋をつくる

社会変化に対応しながらビジョン実現の方針・仕組みをつくり、政策や施策、事業などの方策を具体化する。

#### 将来ビジョンの 実現を支える

まちの魅力的な空間の維持管理や、空間活用で人々の行動変容を促す活動を展開するなどのマネジメントを行う。

### 都市計画が 培ってきた 技術



#### 都市の実態を把握し 分析する技術

複雑に絡み合う要素を整理・分析し、多面的な都市の現状や実態を把握する技術。

#### 人々の多様な思いを 総合化する技術

多様な立場、属性、価値観を持つ人々の思いを受け止め、調整し、総合化する技術。

#### 変化に継続的に 対応していく技術

社会や都市の実態や課題の変化、都市計画技術の進化に柔軟に対応していく技術。

#### 将来像をイメージできる 表現として描く技術

言葉やビジュアルな表現で、将来像をイメージしやすく、共感できるようにする技術。

#### 将来像の実現方法 を具体化する技術

将来像実現のための整備計画や建築・開発の規制・誘導方針の策定、制度設計などの技術。

## 未来を拓く都市計画 礎となる考え方、役割や技術、テーマの広がり

都市計画は、長期的視点で将来像を描き、空間をつくる役割・技術を根幹としています。その領域は社会の様々な課題やニーズに対応して広がりを見せており、様々な分野の取組みをつなぎ、都市活動の多様な花を咲かせる「大きな樹木」に例えることができます。

### 都市計画の礎となる考え方と根幹となる役割・技術 ~これまでも、これからも~

都市計画は、目先の変化に翻弄されない「時間軸」を意識して、長期的視点を持ち、特定の立場での利益に偏らない「公共の福祉」を目的とした法制度運用や活動を展開する姿勢・価値観を礎としています。

そして、広域・地域の将来像を描き、土地利用や市街地開発事業、交通、都市施設など、空間や施設をつくる(整備・誘導する)役割・技術を根幹としながら、環境、防災、水と緑、景観、歴史文化、地域の再生・活性化、公共施設再編など、地域課題に対応した多分野の連携(中間領域の計画)を展開しています。

### 新しい時代・社会に求められる 都市計画の「広がり」と「動き」

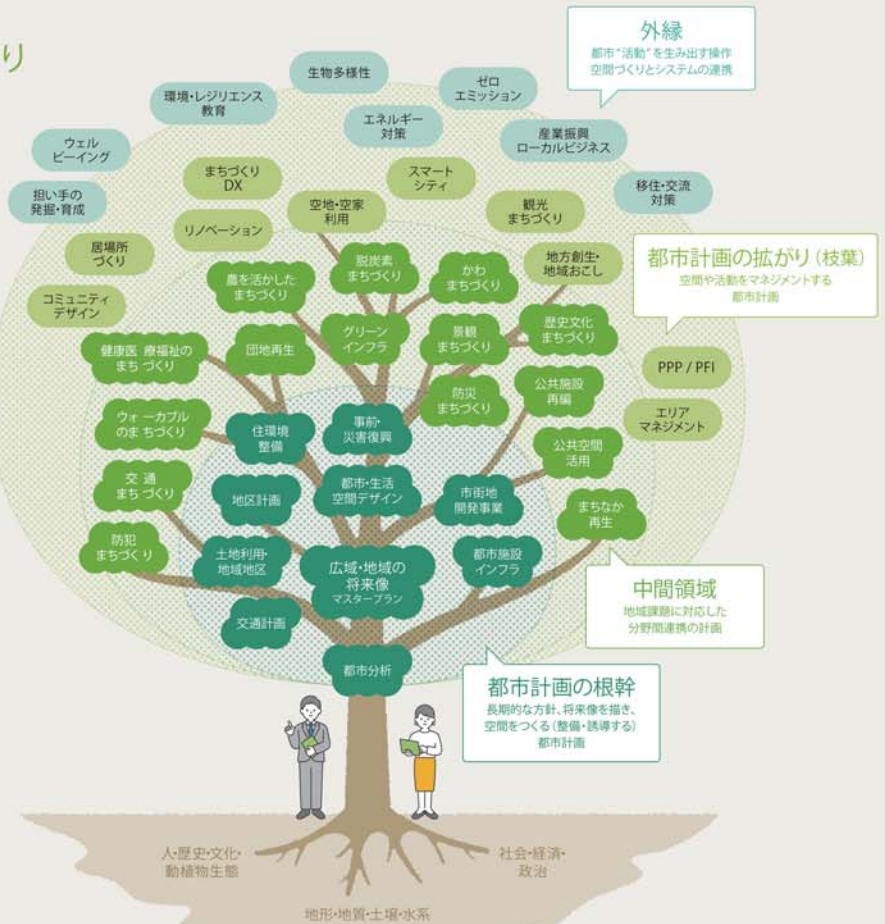
新たな時代に対応して、都市計画には、従来のフィジカルなプランニングから、持続可能な社会を目指す幅広い分野の連携と仕組みづくり、活動支援・プロデュースなどの役割が求められています。

#### “テーマのさらなる広がり”

- 多分野連携・多主体連携のコアとなる都市分析と将来ビジョン・戦略の立案(ひと・生活の質(QOL)を基本としたソーシャルプランへ)
- 時代・地域ごとに異なる具体的な課題に対応したまちづくり
- 他分野連携や様々な専門家等との連携・コーディネート(脱炭素、健康・医療・福祉など社会課題への対応)(スマートシティ、エリアマネジメント、コミュニティデザイン、リノベーション、まちづくりDXなどの都市活動の支援・プロデュース)

#### “加速する変化への能動的な対応 脱固定的な都市計画へ”

- ビッグデータ等による空間と活動のモニタリングと継続的なマネジメント
- 小さな空間の活動や事業と連動して、まちの暮らしや文化を豊かにする「場(place)」のプロデュース





# 求められている 都市計画コンサルタント像

都市計画コンサルタントは、社会動向、社会情勢等の時代の要請にこたえて、より一層の多様な専門性と多様な立場で対応できる能力を備え、活躍する場を創出していく必要があります。

期待される都市計画  
コンサルタント像とは



## 期待される 都市計画コンサルタント像とは

コンサルタントは、社会課題や生活の質の向上など、取り組むべき業務シーズは数多くあります。多様な専門技術者の能力や活動の場を活かして、自ら提案・発信し、能動的に活躍する場を創出していく必要があります。

これから期待される都市計画コンサルタント像には、上記に示す“官民連携伴走型”、“ジェネレーター型”、“ホームドクター型”、“プロデューサー型”のように、多様な専門性と役割があります。これらを発揮するため、都市計画コンサルタント「個人」にも右記に示すように様々な姿勢や能力が求められます。

都市計画コンサルタントの「個人」にも求められるもの

## 社会全体への 貢献

コンサルタントは、行政だけでなく地域住民や民間などの諸主体との多面的な関係のなかで複層的に要請に応えることが必要です。コンサルタント自身が市民として社会に帰属している意識を持ち、社会全体の様々な分野へ貢献していく姿勢が必要です。

## 高度な知識・技術の 習得、研鑽

デジタル社会に対応した専門分野の技術・開発力が求められてきているなか、フィジカルプランを含め高度な知識や技術、発想力をもつ「スペシャリスト」の役割が大事となっています。個人の能力を高めていく姿勢、得意とする能力を磨く姿勢、常に能力を高めていく姿勢が求められます。

## 柔軟な調整能力や 統合化するマネジメント力

複雑化する都市の課題に対応しながら、都市が目指す将来を実現するには、様々な主体や事業を関係づけ調整する「コーディネーター」の役割や、計画・事業の監理・運営のサポート、住民等の議論や意思決定の支援などを行う「ジェネラリスト」の役割が重要となります。このような役割を果たすには、高度な知識や技術をもった上で、柔軟な調整能力や、要素を統合して方向性を示すマネジメント力を併せ持つことが求められます。



## 技術や経験などの ノウハウの継承

社会問題が複雑化する中で、求められる知識や技術は多様化してきており、新たな知識や技術はその都度身に付けていくこととなります。そこでは都市と向き合う姿勢、課題を解決する姿勢、常に提案し続ける姿勢、学び続ける姿勢が必要とされ、そのあるべき姿勢、熟練者が若手に伝えていくことが求められます。



# 都市計画コンサルタント協会の役割と今後の対応

都市計画コンサルタントの職能の確立及び技術力の向上を通じて、都市計画コンサルタント業の健全な発展を図り、もって都市計画の進歩発展に寄与することを目的として活動しています。

## 協会の役割

“都市計画コンサルタント業を営む企業・個人の団体として、仕事と働き手の未来を拓く”

- 都市計画コンサルタントの事業としての発展と会員企業の働き手の健全な就業環境を実現するため、事業開拓や開発、職能に関する認知度向上と普及啓発、労働環境の改善に努める。

“都市計画実務の専門家集団として、その社会的な責務を全うする”

- 都市計画の実務を通じて社会に貢献していくため提案や提言、社会活動の実践など、実務の専門家だからこその行動により社会的な責務を全うする。

“都市計画コンサルタントが集う場として、最高のサロンを提供する”

- コンサルタントにとって事業と経営の基盤である技術の向上を図るため、個々の企業では困難な成長に役立つ、レベルの高い研究や交流の機会を提供する。

## 協会の活動

“都市計画コンサルタント業務の支援”

- 会員相互の交流・連携
- 国の都市政策・都市計画関連情報の提供
- 都市計画業務の受発注に関する情報等の提供
- 都市計画業務の発注方式の適正化に向けての継続的取り組み
- 国、地方自治体等に対し都市計画コンサルタント業務のあり方に関する提言

“都市計画コンサルタント技術者の支援”

- 専門能力の維持・向上と人材育成の支援（講習・研修）
- まちづくり技術交流部会の研究交流活動
- 都市計画コンサルタント業務の発表会の開催
- 都市計画実務専門家認定・登録制度の検討
- 都市計画コンサルタント優良業務登録制度の検討

“社会貢献に関する取り組み”

- 地方自治体の都市計画業務の支援
- 都市のコンパクト化、大規模災害への対応等に関する都市計画の制度や技術の調査研究及び提言等
- 東日本大震災復興への取り組み
- 今後の大規模災害への対応策と即応体制の調査・検討

“関連団体との交流等”

- 都市計画関連団体等との交流・連携
- プラットフォームの構築

## これからの対応

“急速に変化する時代への対応”

- 都市計画コンサルタントが扱っているのは、急速に変化を続ける社会そのものである。その中で、次々と出てくる新たな課題やテーマに進んで向き合い、答えを出すことに挑戦する姿勢が必要である。

“多様な主体と柔軟に連携する”

- 時代の変化にあわせて都市計画コンサルタントの仕事内容も変化を続ける中で、他分野の専門家を含む多様な主体との連携がより一層重要となっている。団体、企業、個人を問わず多様な主体との連携を柔軟に図りながら、協会としての役割を果たすことが求められる。



一般社団法人 都市計画コンサルタント協会  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-12-18 ハイテクニュー平河3F  
ハイテクニュー平河3F  
TEL: 03-3261-6058 e-mail: info@toshicon.or.jp